## 令和5年度 年間学習指導計画案

科目	国語表現 単位数 2単位		2 単位	学年・学科・コース	2年・普通科・スポーツコース	
使用教科書		国語	表現(大修	館書店)	副教材等	なし

## 1. 学習の到達目標と評価の観点

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

## 学習の到達目標

- ・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- ・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

評価の観点							
a. 知識·技能	b.思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度					
実社会に必要な国語の知識や技能を身に	論理的に考える力や深く共感したり豊か	言葉がもつ価値への認識を深めるととも					
付けることができる。	に想像したりする力を伸ばし、実社会にお	に、生涯にわたって読書に親しみ自己を向					
	ける他者との多様な関わりの中で伝え合	上させ、我が国の言語文化の担い手として					
	う力を高め、自分の思いや考えを広げたり	の自覚を深め、言葉を通して他者や社会に					
	深めたりすることができる。	関わろうとする態度を養うことができる。					

## 2. 学習計画及び評価規準、評価方法

	#4 33 FE C	世羽中南 (たきに)	評価の観点			三亚 /亚 + 日 > #	== / <del>= +</del> >+
月	学習項目	学習内容(ねらい)	а	b	С	評価規準	評価方法
4 5	<ol> <li>言葉と出会う</li> <li>・言葉と表記</li> <li>・整った文を書く</li> </ol>	・係り受けについて理解する。 ・文末表現について理解する。 ・敬語について正しい理解をもち、その使い分けについて理解する。 ・話し言葉と書き言葉の違いや、その使い分けについて理解する。 ・和語・漢語・外来語のニュアンスの違いと、その使い分けについて理解する。 ・接続表現の種類と働きを理解する。 ・文脈による文のつながりを理解する。	0			・言葉には、自己と他者の相互理解を深める 働きがあることを理解し、言葉や表記の 大切さを理解している。 ・読み手に対して自分の思いや考えが効果	定期考査 授業テスト 課題
	・相手に応じた言葉遣い ・わかりやすい文を書く ・文のつなぎ方			0		的に伝わるように書かれているかなどを 吟味して、文章全体を整えたり、読み手か らの助言などをふまえて、自分の文章の 特長や課題をとらえ直したりしている。	
					0	・「表記クイズ」を解くことをとおして、正 しい表記や語彙を豊かにすることについ て積極的に取り組もうとしている。	
6 7	伝える、伝え合う ・自己紹介ゲーム ・言葉のストレッチ体操 ・絵や写真を見て書く ・マイニュース記事を書こう	・自己紹介のやりとりをとおして相互理解を図る。 ・取り上げる内容は話し方を工夫して、わかりやすく自己紹介をする。聞くこと・話すこと、伝え合うことを見つめ直し、コミュニケーションに対する意識をもつ。 ・コミュニケーションに取り組む姿勢をもつ。	0			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の 特色について理解を深め、伝え合う目的や 場面、相手、手段に応じた適切な表現や言 葉遣いを理解し、使い分けている。	
				0		・目的や意図に応じて、実社会の問題や自分 に関わる事柄の中から適切な題材を決め、 情報の組合せなどを工夫して、伝えたいこ とを明確にしている。	
					0	・5 W 1 H を明確にし、事実と意見を区別して ニュース記事を書く活動に興味をもち、意 欲的に学習に取り組もうとしている。	
8 9 1 0	小論文・レポート入門 ・小論文とは何か ・反論を想定して書く ・統計資料を読み取って ・レポートを書く	・小論文の基本的な書き方を理解する。 ・意見を筋道を立てて書く。 ・原稿用紙の使い方や推敲の観点を理解する。 ・反論を想定して小論文を書くことの意味を理解する。 ・反論を想定して書く構成を理解し、それに沿って小論文を書く。	0			・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の 特色について理解を深め、伝え合う目的や 場面、相手、手段に応じた適切な表現や言 葉遣いを理解し、使い分けている。	
				0		・読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いるとともに、反論などを想定して論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。	
					0	・小論文と作文の違いをふまえ、小論文らし い文章を書くことに興味をもち、意欲的に 取り組もうとしている。	

月	学習項目	学習内容(ねらい)	評価の観点		点	評価規準	評価方法
Я	<b>子</b> 自模日	子自内台(ねりい)	а	b	С	計逥况华	計ਘ力法
12 ・通信 ・電話 ・電子 ・ネッ	メディアを駆使する ・通信文を書き分ける ・電話を使いこなす	・初対面や目上の相手に対する 電話での話し方を理解する。 ・相手に応じた適切な言葉遣い や応答のしかたを理解する ・電子メールを活用する上での エチケットを理解する。 ・ネットを用いたコミュニケー ションの特長と使用する上 での留意点を理解する。	0			・言葉には、自己と他者の相互理解を深める 働きがあることを理解している。	定期考査 授業を度 小 課題
	・電子メールを活用しよう ・ネット社会との付き合い方 ・ネットを活用した情報収集 ・メディアと情報			0		・視点を明確にして聞きながら、話の内容に 対する共感を伝えたり、相手の思いや考え を引き出したりする工夫をして、自分の思 いや考えを広げたり深めたりしている。	
					0	・ネットを用いたさまざまなコミュニケー ションツールの特徴に興味をもち、そのメ リットやデメリットについて、意欲的に学 習に取り組もうとしている。	
1 2 3	読書のひろば	・読書に興味をもち、意欲的に 読書に取り組む。	0			・自分の思いや考えを伝える際の言語表現 を豊かにする読書の意義と効用について 理解を深めている。	
				0		・目的や場に応じて、実社会の問題や自分に 関わる事柄の中から話題を決め、他者との 多様な交流を想定しながら情報を収集、整 理して、伝え合う内容を検討している。	
					0	・読書に興味をもち、意欲的に読書に取り組 もうとしている。	